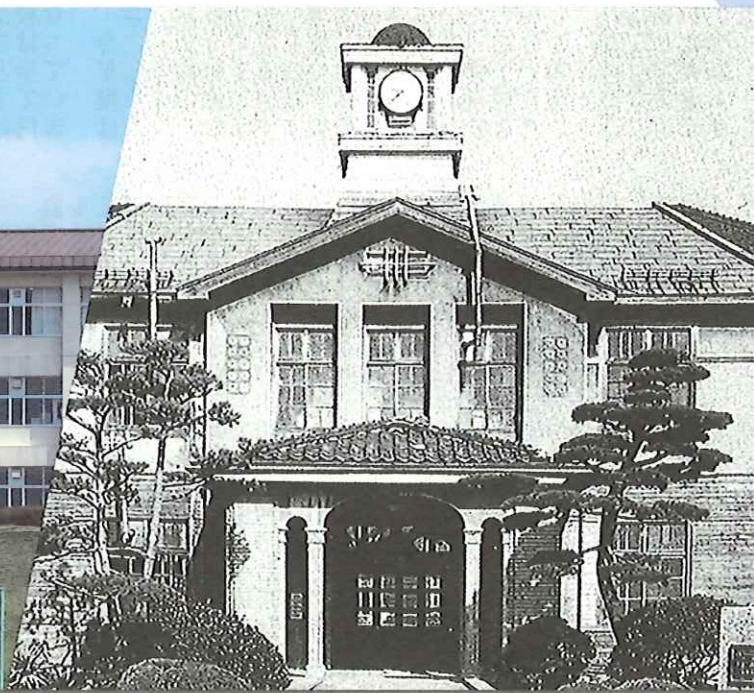


黒工同窓会報



現黒工校舎



旧黒工校舎



ご挨拶

第十五代同窓会長 菅原浩一

全国で活躍中の同窓生の皆様、昭和58年電気科卒業の菅原浩一と申します。昨年度は各支部総会にお招きいただきありがとうございました。本年度もよろしくお願い致します。

令和6年度の卒業生は全日制137名・専攻科7名で、144名が新たに同窓会に仲間入りしました。令和7年度は全日制130名・専攻科9名が入学いたしました。令和7年度は昨年よりも28名減りました。2024年の統計を見ると岩手県の出生数は4,896人でしたが、(前年比536人の減)5千人を下回るのは初めてなそうです。このままでは新入生が100人を下回るのも近い気がいたします。社会情勢や経済状況など色々なことがあると思いますが、これから家庭を持つ身内の方々に進学先として黒工を進めてみるのはいかがでしょうか。

今年も7月から全国高等学校総合体育大会(中国総体2025)が開催されております。母校からは団体の部として、「ローイング部(ダブルスカル)」が出場しており、個人の部として、「陸上部から2名(5,000m競歩・ハンマー投げ)」、ボクシング部から2名(ミドル級・ライト級)が出場し頑張っております。その他、若年者ものづくり競技大会に専攻科から1名出場します。最後まで諦めず全国に黒工の名前を轟かせて欲しいと期待します。

今年も黒沢尻西支部を初めに、黒沢尻東支部、展勝会、盛岡支部の総会・懇親会に校長先生と参加させていただきました。これから江釣子支部や企業内支部も予定されていると思います。昨年と変わらぬ方々が多く、少しは顔を憶えて頂けたかなと思います。盛岡支部に初めてお邪魔させていただきました。日頃よりお世話になっております先輩や卒業以来再会した同級生に驚きました。各支部とも近くにあります若手をお誘いし親睦を図り、益々活発な支部活動に繋がっていただければ幸いです。最後になりますが、同窓会は皆様のご理解とご協力をいただいて活動ができております。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

校長 村上 智 芳

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、温かい御支援、御協力を賜り衷心より感謝申し上げます。令和5年度よりお世話になります。今年度3年目の勤務となります。村上市と申します。よろしくお願いたします。

今年度の黒工は、全校生徒435名（全日制418名、専攻科17名）でスタートしました。ここ数年は、少子化や北上市外等への進学者が増加している影響もあり、生徒数は年を追うごとに減り続けています。この現象は本校のみに限ったことではなく、北上市内の県立高校は全て同様で、定員割れの状態となつています。

この状況を打開すべく、今年度はさまざまな取組を開始しています。その取組の一部を御紹介いたします。一つ目は、「いわて留学」を今年度から北上市の御協力のもと始めています。この制度により、本校を希望する中学生は県外どこからでも受検することができ、生徒数の増加や学校の活性化に期待が持てます。県外で御活躍されている同窓生の皆様、皆様方のお持ちの方がおられましたら、「いわて留学」を御紹介くださいますようお願い申し上げます。また、御自分のお子様や知り合いの方のお子様などには是非この制度を御紹介いただけたらと思います。よろしくお願いたします。

二つ目は、「いわて半導体関連産業集積促進協議会移I-SPARK」の連携協定を5月に締結しました。この事に関連して、令和8年

度から、全国でも数少ない「半導体」を学ぶ科目を新設し、地域企業の専門家を講師にお願いして授業を行うことになっていきます。

このように、87年の歴史の中で築いてきた黒工の伝統を守るために、新たな取組を積極的に推進し、地域が求める学びを提供すること、新たな黒工の伝統を積み上げていくことが活気づく大きな要因は何か、という生徒たちの活躍です。ここで、今年度の生徒たちの部活動での活躍の一端を御紹介します。

第77回岩手県高等学校総合体育大会では、ローイング部がダブルスカルで優勝、ボクシング部は、ライト級・ミドル級の2階級で優勝、陸上競技部は、5000m競歩、ハンマー投げの2種目で優勝を果たし、東北大会も勝ち抜き、3つの部が、中国地方を主会場として開催される高校総体2025への出場権を獲得しました。全国ランキング上位の記録を持つ選手もおり、インターハイでのさらなる活躍を期待しているところがあります。皆様の応援もよろしくお願いたします。

結びに、学校を取り巻く環境は変化し続けていますが、同窓生の方々から受け継いだ黒工らしい生徒の気風は変わることはありません。校訓である「敬愛」「創意」「協力」「責任」と、「夢を持ち夢を追い夢をかなえる」のスローガンのもと、今後も黒工の伝統を守り抜き、皆様の母校の発展に努めてまいりますので、引き続き変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

令和7年度

第84回黒工同窓会定期総会

同窓会活動の活性化・年会費納入者の拡大・母校の支援強化

第84回令和7年度黒工同窓会定期総会が、6月14日（土）プランニュー北上で63名の出席のもと全議案が承認され、無事終了いたしました。議案の要旨は次のとおりです。

第1号議案 令和6年度経過報告承認に関する件

令和6年度は「同窓会活動の活性化を図り、母校の支援を強化する」を重点目標とした。

1 支部活動推進

「支部活動の充実化を推進し、会員の親睦と母校の支援強化を図る」を目指して

(1) 既存支部の支援

ア 支部総会

各支部で開催時には学校長・副校長とともに同窓会役員、校内職員が参加し親睦を図った。

2 後援活動推進

「学校との連携を密に後援活動の充実を図り、部活動活性化の支援を強化する」を目指して

(1) 部活動強化支援

ア 全国大会（又は全国予選等）出場を激励し、激励金を贈呈した。

・全国大会出場

ローイング（ボート）部

50,000円

ソフトテニス部 50,000円

ボクシング部（個人）

30,000円

陸上競技部（円盤投げ、砲丸投げ）
（個人） 20,000円

- ・若年者ものづくり競技大会
専攻科1名 10,000円
- ・全国選抜出場
バスケットボール部(ウインターカップ)
50,000円
- 弓道部(団体、個人)
30,000円
- ローイング(ボート)部
(ダブルスカル) 20,000円
- 陸上競技部(競歩)
10,000円
- イ 新聞応援広告、大会プログラム協賛広告、新年年賀広告等を掲載した。
- ・全国高校野球選手権大会、岩手日報インターハイ応援広告(学校と連名)、ラグビー県大会、田の杯、岩手県民体育大会ローイング競技プログラム広告等
- (2)卒業記念支援
ア 卒業式予行の同日、同窓会入会式にて記念品の贈呈を行った。
- ・全日制「卒業証書ホルダー」
・専攻科「修了証書ホルダー」
- 3 同窓会報推進
「同窓会報を発行し、会員へ同窓会活動と母校の活動状況を広報するとともに、同窓会費納入の促進を図る」を目指して
- (1)会報発行
- ア 同窓会報第69号を9月17日に13,927部発行し、同窓会運営と在校生の様子を伝えると共に、同窓会費納入のお願いをした。
- 4 記念館推進
「記念館内の整備を推進し、貴重な資料の収集・保管に努める」を目指して
- (1)資料収集、清掃、換気等の館内管理、歴代校長肖像写真の追加作成と掲示を行った。
- 5 インターネット推進
「黒工同窓会活動を発信するとともに、同窓生の身近な交流の場となるように運営する」を目指して
- (1)同窓会HPの管理を行った。
- 6 会員名簿作成
(1)卒業生の所在確認の充実を図った。
- (2)「会員名簿会計」の廃止について検討した。
- 7 母校との連携
(1)母校との連携を図り、協力して黒工の発展に努めた。
- 8 事務局
(1)経費削減に努めた。



年会費納入のお願い

卒業生の皆様へ

年会費は年額 2,000 円となっております。

定期総会のご報告の通り、同窓会の諸活動に使用されております。経済状況からもきびしい昨今ですが、同窓会活動を円滑に進め、後輩の後援の為に是非ご協力をお願いいたします。

同窓会長 菅原 浩一

【厚生労働大臣表彰受賞者】

令和 6 年卓越した技能者

(現代の名工) 表彰

とび工 (SWP 工)

高橋 茂吉 氏

昭和 48 年 3 月地質工業科卒

【北上市市勢功労者表彰受賞者】

地方自治功労

八重樫 七郎 氏

昭和 41 年 3 月定機械科卒

産業振興功労

三浦 啓一 氏

昭和 41 年 3 月機械科卒

第2号議案

令和6年度会計決算承認に関する件

1 基本金会計(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(1) 収入の部 (単位: 円、△は減)

款	項	予算額	収入済額	比較増減
1 会費		379,750	376,900	△ 2,850
	1 準会費	379,750	376,900	△ 2,850
2 繰越金		10,041,005	10,041,005	0
	1 前年度繰越金	10,041,005	10,041,005	0
3 諸収入		245	429	184
	1 預金利子	245	429	184
合 計		10,421,000	10,418,334	△ 2,666

(2) 支出の部 (単位: 円、△は減)

款	項	予算額	支出済額	比較増減
1 繰出金		0	1,690,667	1,690,667
	1 繰出金	0	1,690,667	1,690,667
2 予備費		10,421,000	0	△ 10,421,000
	1 予備費	10,421,000	0	△ 10,421,000
合 計		10,421,000	1,690,667	△ 8,730,333

(3) 収支差引残高

(1) 10,418,334 円 - (2) 1,690,667 円 = 8,727,667 円

[次年度へ繰越]

2 経常費会計

(1) 収入の部 (単位: 円、△は減)

款	項	予算額	収入済額	比較増減
1 会費		1,139,250	1,131,600	△ 7,650
	1 準会費	1,139,250	1,131,600	△ 7,650
2 年会費		2,000,000	1,624,470	△ 375,530
	1 正会費	2,000,000	1,624,470	△ 375,530
3 繰越金		1,467,819	1,467,819	0
	1 前年度繰越金	1,467,819	1,467,819	0
4 諸収入		300,431	271,955	△ 28,476
	1 預金利子	431	735	304
	2 繰入金	0	0	0
	3 雑入	300,000	271,220	△ 28,780
合 計		4,907,500	4,495,844	△ 411,656

(2) 支出の部 (単位: 円、△は減)

款	項	補正後予算額	支出済額	比較増減
1 会議費		700,000	645,021	△ 54,979
	1 総会費	540,000	539,560	△ 440
	2 役員会費	160,000	105,461	△ 54,539
2 事業費		2,830,000	1,286,632	△ 1,543,368
	1 支部活動費	100,000	80,000	△ 20,000
	2 後援費	400,000	384,200	△ 15,800
	3 会報発行費	2,150,000	660,000	△ 1,490,000
	4 名簿会計検討事業費	0	0	0
	5 記念館事業費	30,000	29,920	△ 80
	6 インターネット費	100,000	100,000	0
	7 慶弔費	50,000	32,512	△ 17,488
3 事務費		1,205,000	765,095	△ 439,905
	1 事務員給与費	850,000	591,750	△ 258,250
	2 旅費	30,000	22,000	△ 8,000
	3 交際費	30,000	0	△ 30,000
	4 需用費	40,000	34,480	△ 5,520
	5 役務費	250,000	116,865	△ 133,135
	6 備品費	5,000	0	△ 5,000
4 諸支出金		172,500	146,179	△ 26,321
	1 卒業記念費	168,000	141,889	△ 26,111
	2 雑費	4,500	4,290	△ 210
5 予備費		0	0	0
	1 予備費	0	0	0
合 計		4,907,500	2,842,927	△ 2,064,573

(3) 収支差引残高

(1) 4,495,844 円 - (2) 2,842,927 円 = 1,652,917 円

[次年度へ繰越]

3 会員名簿会計

(1) 収入の部 (単位: 円、△は減)

款	項	予算額	収入済額	比較増減
1 事業収入		0	0	0
	1 名簿売上金	0	0	0
2 繰越金		234,857	234,857	0
	1 前年度繰越金	234,857	234,857	0
3 諸収入		45	112	67
	1 預金利子	45	112	67
	2 名簿還元金	0	0	0
合 計		234,902	234,969	67

(2) 支出の部 (単位: 円、△は減)

款	項	予算額	支出済額	比較増減
1 事業費		20,000	0	△ 20,000
	1 住所調査費	10,000	0	△ 10,000
	2 地域名簿費	10,000	0	△ 10,000
2 事務費		10,000	0	△ 10,000
	1 販売経費	10,000	0	△ 10,000
3 予備費		204,902	0	△ 204,902
	1 予備費	204,902	0	△ 204,902
合 計		234,902	0	△ 234,902

(3) 収支差引残高

(1) 234,969 円 - (2) 0 円 = 234,969 円

[次年度へ繰越]

令和6年度会費納入状況

(単位: 円)

支 部 名	金 額
黒 沢 尻 西 支 部	24,000
展 勝 会	30,000
ケ ミ コ ン 岩 手 支 部	60,000
東 網 ス チ ール コ ード 支 部	60,000
黒 沢 尻 東 支 部	70,000
江 釣 子 支 部	140,000
北 上 信 用 金 庫 支 部	14,000
北 上 市 役 所 支 部	96,000
黒 沢 尻 北 支 部	16,000
黒 工 校 内 支 部	14,000
支 部 合 計	524,000
個 人 納 入 金 額	1,100,470
合 計	1,624,470

第3号議案 令和7年度

事業計画承認に関する件

【重点目標】

同窓会活動の活性化を図り、母校の支援を強化する。

【各推進委員会活動目標】

1 支部活動推進委員会

支部活動の充実化を推進し、会員の親睦と母校の支援強化を図る。

(1) 既存支部の支援

ア 同一居住地域の会報配布ネットワークづくりを進める。

イ 支部総会へ本部から出席し、連携を密にする。

ウ 企業支部加入者の地域支部への参加を呼びかける。

エ 活動継続支部に感謝状を贈呈する。

オ 新支部へ支部旗を贈呈する。

(2) 支部設立支援

ア 企業支部、地域支部の充実を図る。

イ 県内では、県民局（地方振興局）範囲程度で同級生の集いを働きかける。

2 後援活動推進委員会

学校との連携を密に後援活動の充実を図り、

部活動活性化の支援を強化する。

(1) 部活動強化支援

ア 全国大会に出場する部を激励し、激励金を贈呈する。

(2) 卒業生に卒業記念品（卒業証書ホルダー・修了証書ホルダー）を贈呈する。

(3) 講演会支援

ア 文化講演会を学校と共催する。

(4) 会員の活動支援をする。

3 同窓会報推進委員会

同窓会報を発行し、会員への同窓会活動と母校の活動状況を広報するとともに、同窓会年会費納入の促進を図る。

(1) 会報発行

ア 原則として年1回とし、同窓会活動や各支部の情報、母校の活動近況を報告する。
また、必要に応じて臨時増刊号を発行する。

イ 会報の内容を検討し、充実した会報にするため一層の努力をする。

ウ 会報に同窓会年会費納入のお願い記事を掲載し、会報郵送時に会費納入書を同封する。

4 記念館推進委員会

記念館内の整備を推進し、貴重記念館内の整

備を推進し、貴重な資料の収集・保管に努める。

(1) 会員からの貴重な資料の収集に努める。

(2) 記念館内の保管・展示品等について「黒工ホームページ」に掲載し、そのPRに努める。

(3) 黒工祭の記念館公開

5 インターネット推進委員会

黒工の同窓会活動を発信するとともに、同窓生の身近な交流の場となるように運営する。

(1) ホームページ更新を随時予定している。

(2) 同窓会案内や各支部の身近な情報を発信する。

(3) 同窓会年会費納入のお願いをする。

6 会員名簿作成委員会

(1) 卒業生の所在確認の充実を図る。

(2) 「会員名簿会計」廃止の実施

7 事務局

(1) 各役員に、会議等開催の連絡調整を行う。

(2) 経費節減に一層努力する。

(3) 会員の個人情報は本会の活動目的以外に使用しない。

同窓会会員名簿会計廃止(案)承認に関する件

提案理由

名簿作成事業が外部委託になり、活用しない当該会計を廃止し整理しようというもの。

1、会則第8条の4関係 別表 予算科目区分の一部削除(案)について

[改正(案)]

[現 行]

3 会員名簿会計の削除

1 基本金会計

款	項	支	款	項
1 会 費		1 繰 出 金		
1 準 会 員 費		1 繰 出 金		
2 繰 越 金		2 予 備 費		
1 前年度繰越金		1 予 備 費		
3 諸 収 入				
1 預 金 利 子				
合 計				

2 経常費会計

款	項	支	款	項
1 会 費		1 議 費		
1 準 会 員 費		1 総 会 費		
2 年 会 費		2 役 員 会 費		
1 正 会 員 費		2 事 業 費		
3 繰 越 金		1 支 部 活 動 費		
1 前年度繰越金		2 後 援 費		
4 諸 収 入		3 会 報 発 行 費		
1 預 金 利 子		4 名 簿 事 業 費		
2 繰 入 金		5 記 念 館 事 業 費		
3 雑 入		6 インターネット事業費		
		7 慶 弔 費		
		3 事 務 費		
		1 事 務 員 給 与 費		
		2 旅 費		
		3 交 際 費		
		4 需 用 費		
		5 役 務 費		
		6 備 品 費		
		4 諸 支 出 金		
		1 卒 業 記 念 費		
		2 雑 費		
		5 予 備 費		
		1 予 備 費		

1 基本金会計

款	項	支	款	項
1 会 費		1 繰 出 金		
1 準 会 員 費		1 繰 出 金		
2 繰 越 金		2 予 備 費		
1 前年度繰越金		1 予 備 費		
3 諸 収 入				
1 預 金 利 子				
合 計				

2 経常費会計

款	項	支	款	項
1 会 費		1 議 費		
1 準 会 員 費		1 総 会 費		
2 年 会 費		2 役 員 会 費		
1 正 会 員 費		2 事 業 費		
3 繰 越 金		1 支 部 活 動 費		
1 前年度繰越金		2 後 援 費		
4 諸 収 入		3 会 報 発 行 費		
1 預 金 利 子		4 名 簿 会 計 検 討 事 業 費		
2 繰 入 金		5 記 念 館 事 業 費		
3 雑 入		6 インターネット事業費		
		7 慶 弔 費		
		3 事 務 費		
		1 事 務 員 給 与 費		
		2 旅 費		
		3 交 際 費		
		4 需 用 費		
		5 役 務 費		
		6 備 品 費		
		4 諸 支 出 金		
		1 卒 業 記 念 費		
		2 雑 費		
		5 予 備 費		
		1 予 備 費		

第5号議案

令和7年度会計予算承認に関する件

1 基本金会計(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(1) 収入の部 (単位: 円、△は減)

款	項	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
1 会 費		365,750	379,750	△ 14,000
1 準 会 員 費		365,750	379,750	△ 14,000
2 繰 越 金		8,727,667	10,041,005	△ 1,313,338
1 前年度繰越金		8,727,667	10,041,005	△ 1,313,338
3 諸 収 入		500	245	255
1 預 金 利 子		500	245	255
合 計		9,093,917	10,421,000	△ 1,327,083

(2) 支出の部 (単位: 円、△は減)

款	項	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
1 繰 出 金		1,920,000	0	1,920,000
1 繰 出 金		1,920,000	0	1,920,000
2 予 備 費		7,173,917	10,421,000	△ 3,247,083
1 予 備 費		7,173,917	10,421,000	△ 3,247,083
合 計		9,093,917	10,421,000	△ 1,327,083

2 経常費会計

(1) 収入の部 (単位: 円、△は減)

款	項	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
1 会 費		1,097,250	1,139,250	△ 42,000
1 準 会 員 費		1,097,250	1,139,250	△ 42,000
2 年 会 費		2,000,000	2,000,000	0
1 正 会 員 費		2,000,000	2,000,000	0
3 繰 越 金		1,652,917	1,467,819	185,098
1 前年度繰越金		1,652,917	1,467,819	185,098
4 諸 収 入		2,455,469	300,431	2,155,038
1 預 金 利 子		500	431	69
2 繰 入 金		1,920,000	0	1,920,000
3 雑 入		534,969	300,000	234,969

3 会員名簿会計

款	項	支	款	項
1 事 業 収 入		1 事 業 費		
1 名 簿 売 上 金		1 住 所 調 査 費		
2 繰 越 金		2 地 域 名 簿 費		
1 前年度繰越金		2 事 務 費		
3 諸 収 入		1 販 売 経 費		
1 預 金 利 子		3 予 備 費		
2 名 簿 還 元 金		1 予 備 費		

(2) 支出の部

(単位: 円、△は減)

款	項	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
1 会 議 費		750,000	700,000	50,000
1 総 会 費		550,000	540,000	10,000
2 役 員 会 費		200,000	160,000	40,000
2 事 業 費		5,000,000	2,830,000	2,170,000
1 支 部 活 動 費		150,000	100,000	50,000
2 後 援 費		2,400,000	400,000	2,000,000
3 会 報 発 行 費		2,150,000	2,150,000	0
4 名 簿 計 検 討 事 業 費		0	0	0
5 記 念 館 事 業 費		250,000	30,000	220,000
6 インターネット事業費		0	100,000	△ 100,000
7 慶 弔 費		50,000	50,000	0
3 事 務 費		1,215,000	1,205,000	10,000
1 事 務 員 給 与 費		850,000	850,000	0
2 旅 費		40,000	30,000	10,000
3 交 際 費		30,000	30,000	0
4 需 用 費		40,000	40,000	0
5 役 務 費		250,000	250,000	0
6 備 品 費		5,000	5,000	0
4 諸 支 出 金		210,000	172,500	37,500
1 卒 業 記 念 費		200,000	168,000	32,000
2 雑 費		10,000	4,500	5,500
5 予 備 費		30,636	0	30,636
1 予 備 費		30,636	0	30,636

第6号議案 同窓会運営内規の改正（案）承認に関する件

提案理由

本校卒業生の「個人情報の取り扱い」に関する取り決めに明確にし、安全に同窓会活動の運営を行うことを規定するもの。

1、会則第17条関係 [現 行] 内規無し

会則 第17条（記録の保管）

本会は次の帳簿を備え置くものとする。

（4）会員名簿

※（1）～（3）、（5）省略

[改 正] 内規の追加（案）

岩手県立黒沢尻工業高等学校同窓会 個人情報取扱規定（案）

第1条（目的）

この規定は、岩手県立黒沢尻工業高等学校同窓会（以下「本会」という）が取扱う個人情報について適正に管理し、情報漏えいや不正アクセスから守ることを目的とする。

第2条（個人上に対する基本姿勢）

本会は、個人情報保護法の趣旨を尊重し、「同窓会における個人情報取扱規定」を定める。

第3条（本会が保有する個人情報）

本会は、次の会員の個人情報を保有している。

（1）岩手県立黒沢尻工業高等学校 （2）岩手県立黒沢尻工業高等学校専攻科

第4条（個人情報の利用目的）

本会は、会員の個人情報を、次の目的で利用する。

- （1）会員の氏名・住所・電話番号を、同窓会報等の発送、会費の徴収、納入通知、寄付金の依頼、及びこれに関し必要とされる連絡や通知に使用するため。
- （2）本会の活動に参加された場合、写真・映像・文章等を本会発行の刊行物に掲載するため。
- （3）本会発行の刊行物に寄稿された場合、当該刊行物にこれを掲載するため。

第5条（第三者への開示・提供）

法令に基づく請求の場合を除き、本会が保有する会員の個人情報は、会員以外の第三者への開示および提供は行わない。また、会員からの利用申請に対しても、不具合があると判断した場合は、会員の個人情報の開示及び提供は行わない。

第6条（会員の責務）

会員は入手した会員の個人情報を、本会の活動以外には使用しない。また、第三者へ会員の個人情報を提供しない。

第7条（個人情報の適切な管理）

会員の個人情報を、正確かつ最新のものに保つよう努めるとともに、その機密保持には漫然を期する。また、会員の個人情報の入手に際しては、異動通知はがき等、直接本人から許可を得て行うものとする。

2 会員から登録を希望しない個人情報の項目がある旨の申し出があった場合は、事務局において当該項目の抹消処理を行う。

【会員ご本人の個人情報に関する相談窓口】

岩手県立黒沢尻工業高等学校 同窓会事務局 電話：0197-66-4930

令和8年度 黒工同窓会定期総会

期日 令和8年6月13日（土）

時間 午後3時

場所 ブランニュー北上

令和6年後期・令和7年前期支部活動

二工会	令和6年	9月21日（土）
谷村電気精機支部	11月	1日（金）
黒沢尻西支部	令和7年	6月28日（土）
黒沢尻東支部	7月	5日（土）
展勝会		7月19日（土）
盛岡支部		7月23日（水）
江釣子支部		8月29日（金）



主な就職先

〈民間就職〉

【北上職安管内】

旭ボーリング(株)
 岩手製鉄(株)
 キオクシア岩手(株)
 北上電工(株)
 (株)ケー・アイ・ケー
 ケミコン東日本(株)岩手工場
 (株)サステック東北
 サタケ東北(株)
 (株)佐藤組
 (株)サトー
 シチズンマシナリー(株)
 (株)ジャパンセミコンダクター
 ジャパンマテリアル(株)
 千田工業(株)
 合ツチャ塗装工業
 (株)東北イノアック
 南部電気工事(株)
 (株)PEK
 ピー・エス・コンクリート(株)北上工場
 日立 Astemo H(株)北
 (株)真栄城電設
 (株)丸重
 (株)ミスズ工業岩手工場
 ルートインホテルジャパン(株)東京本部
 (株)ワイ・デー・ケー東北工場
 【県内】
 旭エンジニアリング(株)
 (株)大久保建設
 (株)たかしん興業
 (株)長府製作所 花巻工場
 (株)みちのくクボタ
 和同産業(株)
 アキラ機電(株)
 (株)内澤建設

(株)NTT-ME
 佐々木建設(株)
 東北自然エネルギー(株)
 東北送配電サービス(株)
 リコージャパン(株)
 (株)デンソー岩手
 東京エレクトロテクノロジーソリューションズ(株)
 トヨタ自動車東日本(株)
 【県外】
 イオンディライト(株)東北支社
 (株)東北電気保安協会
 東北電力(株)
 東北電力ネットワーク(株)
 日本道路(株)東北支店
 (株)ユアテック
 丸善石油化学(株)千葉工場
 三島光産(株) 鉄鋼君津事業本部
 NDK 電設(株)
 鹿島道路(株)
 高速道路トールテクノロジー(株)
 サンライズ・エンジニアリング(株)
 (株)TMEIC
 東亜道路工業(株)
 東京電力パワーグリッド(株)
 東京ビジネスサービス(株)
 東日本高速道路(株)
 東日本電気エンジニアリング(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 向井建設(株)
 国土開発工業(株)
 トヨタ紡織東北(株) (学園生)
 (株)さんでん

〈公務員〉

国土交通省
 奥州市役所 (電気)

北上地区広域行政組合 (初級電気)
 警察庁東北管区警察局 (電気)
 一般曹候補生 (陸上)

〈進学〉

【大学】

☆☆国公立大学☆☆

北見工業大学・工学部
 岩手県立大学・ソフトウェア情報学部
 ・総合政策学部

☆ 私立大学 ☆

盛岡大学・文学部
 東北学院大学・工学部 (2)・経済学部
 石巻専修大学・理工学部
 東北工業大学・工学部
 日本大学・工学部 (2)
 埼玉工業大学・工学部
 神奈川工科大学・工学部
 大東文化大学・経済学部 (2)・法学部
 立正大学・データサイエンス学部 (2)

☆ 短期大学 ☆

岩手県立宮古短期大学部・経営情報学科
 【高専編入・専攻科・産技短】
 岩手県立産業技術短期大学校矢巾校 (2)
 岩手県立産業技術短期大学校水沢校
 黒工専攻科 機械コース (3)
 黒工専攻科 電気コース (2)

【専門学校】

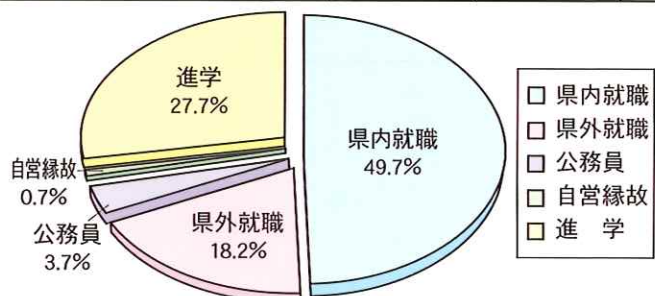
北上コンピュータアカデミー (3)
 北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ
 国際医療福祉専門学校一関校
 仙台医健・スポーツ専門学校 (2)
 東北電子専門学校 (2)
 秋田情報ビジネス専門学校
 トヨタ東京自動車大学校

令和6年度 進路状況

令和7年3月1日現在

		機械科		電気科		電子科		電子機械科		土木科		材料技術科		男女別小計		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
就職	県内就職	13		13		14	1	9		9		9		67	1	68
	県外就職	4		9	1	2		2		6		1		24	1	25
	公務員等	1		3		1								5	0	5
	自営縁故									1				1	0	1
	男女別小計	18	0	25	1	17	1	11	0	16	0	10	0	97	2	99
進学	合計	18		26		18		11		16		10		99		38
	大学	2		4		1		7		4		1		19	0	
	短大					1								1	0	
	専攻科	1	1	1		2								4	1	
	産技短					2		1						3	0	
	専門学校等	1				5		4						10	0	
	男女別小計	4	1	5	0	11	0	12	0	4	0	1	0	37	1	
合計		5		5		11		12		4		1		38		137
合計		23		31		29		23		20		11		137		137

	人数	割合%
県内就職	68	49.7
県外就職	25	18.2
公務員	5	3.7
自営縁故	1	0.7
進学	38	27.7
合計	137	100.0



母校活動の記録

高総体(運動部)

◆陸上競技部

- 男子総合 3位
- 男子フィールドの部 2位
- 400mハードル 東北大会出場
- 1000mハードル 東北大会出場
- 3000m障害 東北大会出場
- 5000m競争 東北大会出場
- 高橋汰紅(E3) 決勝1位 大会新

- 棒高跳 佐藤颯大(E3) 決勝4位 東北大会出場
- 砲丸投 齋藤匠(Z3) 決勝1位 東北大会出場
- 甲斐 光(M3) 決勝4位 東北大会出場
- 平藤隼斗(E2) 決勝6位 東北大会出場
- 内盤投 甲斐 光(M3) 決勝4位 東北大会出場
- ハンマー投 甲斐 光(M3) 決勝1位 東北大会出場
- 平藤隼斗(E2) 決勝3位 東北大会出場
- 藤田翔磨(E3) 決勝5位 東北大会出場

◆バスケットボール部

- 準決勝 黒工 64-74 盛工
- 優秀選手 押切優真(M3)

◆バレーボール部

- ベスト8 黒工 0-2 一関修紅
- 優秀選手 鈴木祐汰(C3)

◆卓球部

- 男子団体 2回戦進出
- 女子ダブルス 大久保海夢(Z3)・藤原愛華(Z3) 3回戦進出

◆ラグビー部

- 女子シングルス 藤原愛華(Z3) 2回戦進出
- 第3位 3位決定戦 黒工 31-0 花巻東

◆バドミントン部

- 男子団体 2回戦進出

◆ボクシング部

- 学校対抗 2位
- 男子1部 ライトフライ級 和賀麗音(C2) 2位 東北大会出場
- ライト級 山崎達也(E2) 1位 東北大会&インターハイ出場

◆ミドル級

- 鳥谷部侑希(E2) 1位 東北大会&インターハイ出場

◆ソフトテニス部

- 団体戦 第3位 東北大会&インターハイ出場
- 準決勝 黒工 0-2 一関学院
- 個人戦 9位 古田息吹(Z2)・高橋海琉(C3) 東北大会出場

◆テニス部

- 男子団体 1回戦敗退

◆軟式野球部

- 1回戦敗退
- 弓道部 男子団体 第3位 射道優秀校
- 男子個人 4位 南館月那(E2) 東北大会出場
- 女子団体 準決勝進出

◆山岳部

- 第8位

◆ローイング部

- ダブルスカル1位 菅原翔太(E3)・芳野昂輝(E3) 東北大会&インターハイ出場
- 総合2位
- かじ付き4人スカル 3位 佐藤 颯(E2)・梅木雷仁(E2) 佐々木悠利(E2)・熊谷永遠(E3) 照井淳也(E2) 東北大会出場



東北総体

◆陸上競技部

- 男子5000m競争 高橋汰紅(E3) 決勝1位
- 男子ハンマー投 甲斐光(M3) 決勝2位
- ソフトテニス部 個人 古田息吹(Z2)・高橋海琉(C3) 初戦敗退
- ダブルスカル 菅原翔太(E3)・芳野昂輝(E3) 4位
- 弓道部 男子個人 南館月那(E2) 1位 技能優秀賞
- ボクシング部 1部 ライト級 山崎達也(E2) 初戦敗退
- ミドル級 鳥谷部侑希(E2) 2位
- 水泳部(水球) 第5位

◆インターハイ出場

◆インターハイ出場

◆ソフトテニス部

- 個人 古田息吹(Z2)・高橋海琉(C3) 初戦敗退

◆ローイング部

- ダブルスカル 菅原翔太(E3)・芳野昂輝(E3) 4位

◆弓道部

- 男子個人 南館月那(E2) 1位 技能優秀賞

◆ボクシング部

- 1部 ライト級 山崎達也(E2) 初戦敗退
- ミドル級 鳥谷部侑希(E2) 2位

◆水泳部(水球)

- 第5位



全国大会

◆陸上競技部

- 男子5000m競争 高橋汰紅(E3) 4位
- 男子ハンマー投 甲斐光(M3) 予選B組11位 54m24
- ローイング部 ダブルスカル 準決勝敗退
- 菅原翔太(E3)・芳野昂輝(E3) 4位
- ボクシング部 ライト級 山崎達也(E2) 初戦敗退
- ミドル級 鳥谷部侑希(E2) 5位

◆専攻科

- 若年者ものづくり競技大会 旋盤部門 川崎善毅(専攻科1年) 銀賞

◆硬式野球部

- 第107回全国高等学校野球選手権岩手大会 1回戦 黒工 6-18 岩手

◆将棋部

- 県高校将棋大会 男子個人戦B級 小原聖斗(E1) 3位

その他の大会



【令和7年度黒工祭】

令和7年¹⁰~~11~~月24日(金)～25日(土)
各工業科展示・同窓会館公開 等
※一般公開は¹⁰~~11~~月25日(土)のみ



【祝！！ 全国大会出場】

令和7年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技・ローイング(ボート)競技・陸上競技および若年者ものづくり競技大会旋盤部門へ出場する団体及び個人へ激励金が贈呈されました。



事務局より

年会費は2千円です

- ・同封の払込用紙か銀行振込等にて払込下さい。
- ・すでにまとめて納入されている方にも用紙が封入されます。ご了承下さい。
- ・所属支部へ納入している方は、重複の無いようご確認下さい。
- ・郵便局振込以外でも下記口座をご利用になれます。

北上信用金庫 本店(普) No.1215200
北日本銀行北上支店(普) No.1275233

黒沢尻工業高等学校同窓会

会長 菅 原 浩 一

銀行振り込みの際、個別の「整理番号+氏名カタカナ」を入力して下さい。

(例) 「1234クロコウタロウ」

住所、勤務先、支部代表者等の変更

払込用紙利用の他、電話・FAX・メール等で速やかに下記までご連絡下さい。
(不在時は、留守番電話対応です。)

連絡先 〒024-8518 岩手県北上市村崎野24-19
黒沢尻工業高校同窓会事務局
電話・FAX 0197-66-4930
E-mail: dosokai965@yahoo.co.jp

同窓会ホームページについて

卒業生の活躍や各支部の活動を始め、在校生が出場する大会の詳細など、載せていきたいと思っています。ぜひご覧ください。



《ホームページアドレス》

<http://www2.iwate-ed.jp/kst-h/...DOUSOUKAI.../>

編集後記

今年の会報で第70号の発行となりました。永きにわたり記念号、増刊号などができましたことに感謝申し上げます。今号は、同窓会活動の写真を増やすなど、在校生だけでなく、同窓生の活動につきましても紹介しております。今後も、同窓会報や同窓会ホームページにて同窓生の活動を紹介して行ければと思います。今度も、より一層の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。